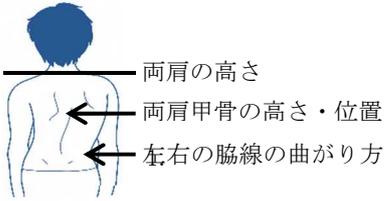
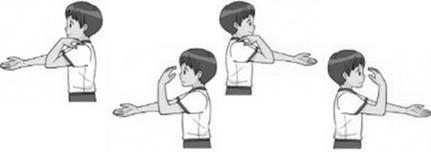
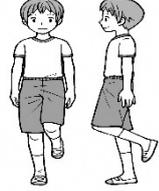
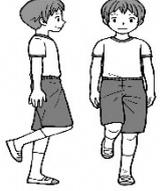


保健調査票「整形外科」欄への記入について

運動器検診は、成長過程にある児童生徒等の脊柱・胸郭・四肢・骨・関節の疾病及び異常を早期に発見することにより、心身の成長・発達と生涯にわたる健康づくりに結び付けていくために行います。

ご家庭で以下の図を参考に観察を行い、保健調査票「整形外科」欄にご記入ください。

運動器観察 参考資料

整形外科	姿勢	<p>背骨が曲がっている</p> <p>左右の肩の高さが違う</p>	 <p>両肩の高さ</p> <p>両肩甲骨の高さ・位置</p> <p>左右の脇線の曲がり方</p>	 <p>前屈した際の背面の左右の高さ・位置</p>	
	日常生活で支障がある程度	<p>身体を前に曲げたり後ろに反らしたりすると、腰に痛みがある</p>	<p>前屈したとき</p> 	<p>後屈したとき</p> 	
	日常生活で支障がある程度	<p>肩やひじを動かすと、痛みや動きの悪いところがある</p>	<p>手のひらを上に向けた腕の曲げ伸ばし</p> 	<p>バンザイ</p> 	<p>肩の上下</p> 
	日常生活で支障がある程度	<p>片足立ちをすると、体が傾いたりふらついたりする</p>	<p>片足立ち(右)</p> 	<p>片足立ち(左)</p>  <p>※5秒以上静止できない</p>	
	日常生活で支障がある程度	<p>足の裏全部を床につけて、しゃがみ込むことができない</p>		 <p>しゃがむと痛みがある ふらつく、後ろに転ぶなど</p>	

・これらの動きが出来ることは、けがの予防にもつながります。ゆっくり練習してから、保健調査票の「整形外科」欄へチェックをしてみてください。

・これらの症状があっても、通院治療中だったり、学校生活に支障がない程度だったりする場合は、検診結果のお知らせを出さないことがあります。

⇒「通院中」または「経過観察中」の場合は、保健調査票の左面「学年」欄等へご記入ください。